

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金 毎年3月31日
 受領株主確定日
 中間配当金 毎年9月30日
 受領株主確定日
 公告方法 電子公告

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各
 支店ならびに日本証券代行株式会社の本店およ
 び全国各支店で行っております。

※やむを得ない事由により電子公告をする
 ことができない場合には、「日本経済新聞」
 に公告いたします。
<http://www.mutoh-hd.co.jp>

ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
 お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 7999

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより URL自動返信 kabu@wim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
 ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

第62期
 中間(第2四半期)報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで
 MUTOHホールディングス株式会社



■ごあいさつ



代表取締役社長
早川 信正

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第62期中間（第2四半期）報告書をお届けいたします。

当第2四半期累計期間におきましては、新製品の投入、海外市場での販路拡大強化、グループ内での事業再編の実施等積極的な施策の展開に加えて、継続的な原価の低減活動および費用の削減対策等を展開した結果、期初計画を上回る利益を計上することができました。

引き続き通期の計画達成を目指して、攻めの経営を展開してまいります。皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期における経済環境は、中国を中心としたアジア新興諸国においては堅調に成長を続けておりますが、米国・欧州等の先進諸国においては金融システム不安や雇用情勢の悪化による影響などの懸念材料が依然として拭き取られておりません。

我が国においては、昨今の為替環境による影響から企業業績は先行き不透明感を増してきており、本格的な回復には至っておりません。

このような状況の中、当社グループは主力製品である大判プリンタ『バリュージェット』シリーズにおいて、期初からサインディスプレイから旗幕業界やアパレル分野まで多彩なニーズに応える『ValueJet TD シリーズ』を投入したのに加えて、9月にはカラーマネージメントの作業を大幅に軽減することができる測色器『SPECTROVUE VM-10』を搭載した『VJ-1608HS』を発表し、製品ラインアップの強化を図ってまいりました。また、海外市場では引き続き販売網の拡大・ブランドの強化に注力し、国内市場では7月にメンテナンス事業を武藤工業(株)に集約し、またCAD事業を(株)ムトーエンジニアリングに集約するなど、グループ内での事業の最適化を図り、収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期における連結経営成績は、売上高114億17百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益7億75百万円（前年同四半期は2百万円の損失）、経常利益5億53百万円（前年同四半期は34百万円の損失）、四半期純利益では5億45百万円（前年同四半期は2億69百万円の損失）となり、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

早期の復配と継続的な配当を目指し、グループ一丸となり経営戦略を展開してまいります。

よろしくご理解のほど、お願い申し上げます。

連結決算ハイライト

○連結売上高	第62期第2四半期 11,417 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	30,416 百万円	26,338 百万円	21,997 百万円
第2四半期	16,092 百万円	14,997 百万円	10,513 百万円

○連結営業損益	第62期第2四半期 775 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	3,022 百万円	951 百万円	354 百万円
第2四半期	2,135 百万円	1,300 百万円	△2 百万円

○連結経常損益	第62期第2四半期 553 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	3,210 百万円	1,394 百万円	325 百万円
第2四半期	2,149 百万円	1,621 百万円	△34 百万円

○連結当期純損益	第62期第2四半期 545 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	1,802 百万円	604 百万円	217 百万円
第2四半期	1,141 百万円	924 百万円	△269 百万円

○連結総資産額	第62期第2四半期 28,370 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	30,964 百万円	28,301 百万円	28,789 百万円

○連結純資産額	第62期第2四半期 19,040 百万円		
	第59期	第60期	第61期
	20,084 百万円	18,880 百万円	19,018 百万円

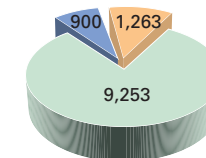
通期の業績予想	単位：百万円				
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
連結業績予想	26,000	1,200	1,100	650	

当第2四半期における連結経営成績は、積極的な販売活動と経費の削減対策等の展開により予定を上回る利益水準で推移し、平成22年8月10日に当初業績予想を上方に修正し、その後11月4日に再度上方修正いたしました。しかしながら現状では、世界経済は緩やかな回復基調にはあるものの、円高の影響等により経済情勢が不透明感を増しており、当社の関連市場においても同様な状況が続いております。このような環境下において、今後の経済動向を注視する必要があることから、通期の業績予想につきましては8月10日の公表値を据え置いております。

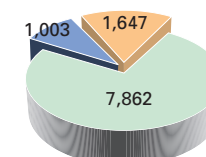
第2四半期事業別セグメント売上高（百万円）

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
不動産賃貸事業ならびにその他の事業

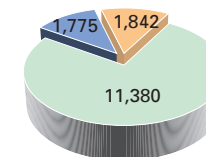
・第62期 **11,417** 百万円



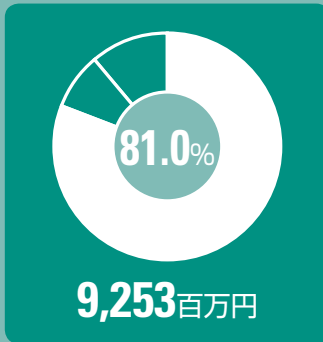
・第61期 **10,513** 百万円



・第60期 **14,997** 百万円



情報画像関連 機器事業



情報画像関連機器事業においては、堅調な経済を背景に順調に売上高を伸ばすアジアに加え、未だ本格的な回復には至っていないものの、景気の回復・新製品の投入・拡販政策の実施により北アメリカ・ヨーロッパにおいても堅調に推移した結果、売上高92億53百万円、営業利益8億33百万円となりました。

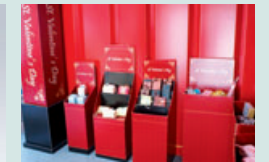
多目的大判プリンタ『VJ-1608HS』を発表

VJ-1608HSは、植物由来成分を50%配合し、環境に配慮した新型機能性インク『MP(マルチパーパス)インク』と、自社開発の測色器『SPECTROVUE VM-10』を標準搭載した多目的大判プリンタです。

屋外広告で使用されるマーキングフィルム、ターポリン等の従来素材はもちろん、ノンコートPET、合成紙といった素材から、スチレンボード、プラダン・ダンボールなどのボード材など、さまざまな素材への印刷が可能です。



多目的大判プリンタ「VJ-1608HS」



印字例：ダンボール

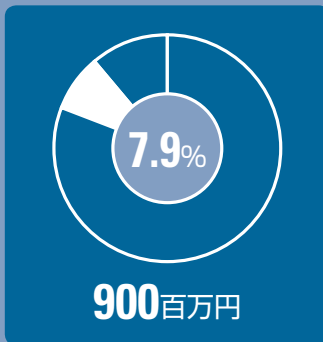


測色器「SPECTROVUE VM-10」



印字例：ABS樹脂

情報サービス 事業



情報サービス事業においては、企業のIT投資抑制が緩和しつつあるものの、依然として慎重な姿勢に変わりはなく、売上高は9億円となり、営業利益は事業移管による事業の効率化、継続したコスト改善の効果により19百万円となりました。

Web会議管理システム『SooMit』を発表

▶SooMit(ソーマイト)とは……

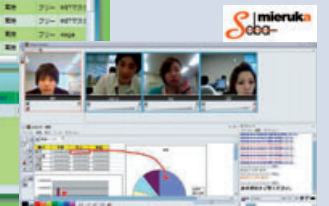
㈱SOBAプロジェクト(京都市下京区)が開発した『SOBA mieruka』(ソバ・ミエルカ)をベースに、ムトーアイテックス㈱が開発したグループウェア機能を組み合わせ、管理機能をアドオンしたWeb会議管理システムです。

Web会議の開催予定を作成でき、社内の会議開催予定や参加者の管理、参加者への通知が行えるほか、個人の会議スケジュールも管理できます。

Web会議システムがより身近に、より使いやすくなりました。



Web会議管理システム「SooMit」



TV会議システム「Soba mieruka」

不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



不動産事業においては、前年同様に安定的な賃貸を継続しており、売上高4億13百万円、営業利益2億28百万円となりました。

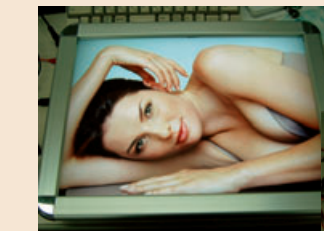
その他の事業においては、回復が鈍い国内市場の影響を受け、個人向けを主とする運動用補助品、設計製図機器等の製品は依然として厳しい状況にあり、売上高8億50百万円、営業損失77百万円となりました。

次世代LEDバーライト『Cool Light』

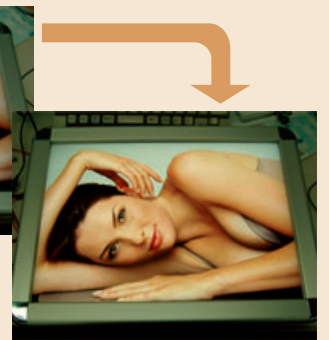
低消費電力で発熱を極限まで抑えたLED棚照明、『クールライト』に高演色タイプが新登場!

LEDライトには、長寿命・省エネ・コンパクト(省資源)・水銀レスなどの特長があり、環境への負荷を大幅に低減することができます。

高演色タイプでは、従来のLEDでは青白く表現されていた展示物を、より発色性を豊かに色再現でき、本来のイメージを崩さない表示が可能です。



従来のLEDライトでの表示



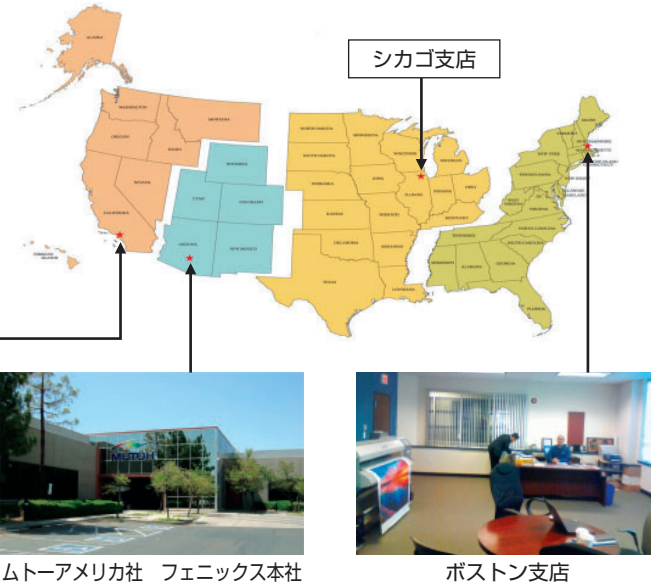
高演色LEDライトでの表示

LED棚照明「クールライト」

海外販売拠点の強化【北米・南米】

北米

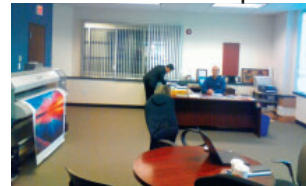
欧州と並ぶ、重要市場である北米では、ムトーアメリカ社が販売エリアを再編。
 本社フェニックスに加え、ロサンゼルス、シカゴ、ボストンに支店を設立し、お客様の近くでよりきめの細かい営業活動を行うことにより、新規ディーラーの開拓など、積極的な販売・サービス活動を推進しています。



ロサンゼルス支店



ムトーアメリカ社 フェニックス本社



ボストン支店



南米（ブラジル）

2010年7月に武藤工業(株)は、南米ブラジルのサイン関連機器大手販売店と代理店契約を締結。
 7月21日～24日にブラジル・サンパウロで開催された展示会「Serigrafia Sign 2010」には、販売代理店と共に大々的に出展し、成長著しい中南米市場に本格的に進出しました。



販売代理店ブース参加スタッフとMUTOH社員



展示会風景

2010年10月18日～29日開催
 COP10会場でバリュージェットが大活躍!!

愛知県名古屋市で開催されたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）の会場に、MUTOHの大判インクジェットプリンタ：バリュージェット（VJ-1608HJ）で印刷した93枚のパネルが展示されました。
 【公式ポスター：Life in harmony into the future】をはじめ、絶滅危惧種生物の写真などの印刷に、石油系原料を大幅に減らした環境対応インクを採用。
 環境にやさしいバイオマスインクで、温暖化の原因であるCO₂の発生を削減しています。
 2008年の洞爺湖サミットでもバリュージェットにより印刷されたパネルが展示されており、今回のCOP10と合わせて
MUTOH=“環境対応”
 というイメージを強烈にアピールしています。



2010年7月にグループ間の事業移管を実施
 『国内販売&サービスの強化』と『お客様満足度の向上』を推進

- 1 『プリンタメンテナンス事業』を
 (株)ムトーエンジニアリングから**武藤工業(株)**に移管
 武藤工業(株)は、大判インクジェットプリンタの開発・製造・販売からメンテナンスまでの一貫した体制を構築。
 お客様ニーズの変化を的確に捉えた製品投入と、安心してお使いいただけるサービス体制の強化を推進。
 ⇒販売シェアのアップとお客様満足度の向上を目指してまいります。
- 2 『CAD事業』を武藤工業(株)から
 (株)ムトーエンジニアリングに移管
 (株)ムトーエンジニアリングは、ドラフター等の設計製図機器で教育分野等に強みを発揮。
 シナジー効果を高め、製造業が中心のCAD事業の販路を、教育分野等へ拡大推進。
 ⇒設計製図機器事業で幅広く培ったノウハウを活用して、お客様に最適な設計環境を提供してまいります。



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別			科目	期別		
	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在		当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成22年3月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産	17,541	15,652	17,508	流動負債	5,453	4,419	5,656
現金及び預金	8,004	6,231	7,449	支払手形及び買掛金	3,296	2,192	3,375
受取手形及び売掛金	4,027	4,132	4,568	短期借入金及び一年以内返済予定の長期借入金	104	219	115
たな卸資産	4,912	4,978	4,815	その他	2,052	2,007	2,164
その他	596	310	674	固定負債	3,876	4,082	4,114
固定資産	10,829	11,578	11,281	長期借入金	261	354	309
有形固定資産	8,889	9,382	9,134	その他	3,615	3,727	3,805
無形固定資産	656	814	741	負債合計	9,330	8,501	9,770
投資その他の資産	1,283	1,381	1,405	純資産の部			
投資有価証券	608	713	714	株主資本	20,682	19,650	20,137
その他	675	668	691	資本金	10,199	10,199	10,199
資産合計	28,370	27,230	28,789	資本剰余金	4,182	4,182	4,182
				利益剰余金	8,607	7,574	8,061
				自己株式	△ 2,306	△ 2,305	△ 2,305
				評価・換算差額等	△ 2,256	△ 1,501	△ 1,713
				少数株主持分	615	580	594
				純資産合計	19,040	18,729	19,018
				負債・純資産合計	28,370	27,230	28,789

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当第2四半期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	前第2四半期 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高	11,417	10,513	21,997
営業利益又は営業損失(△)	775	△ 2	354
経常利益又は経常損失(△)	553	△ 34	325
税金等調整前四半期(当期)純利益	655	16	418
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	545	△ 269	217

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

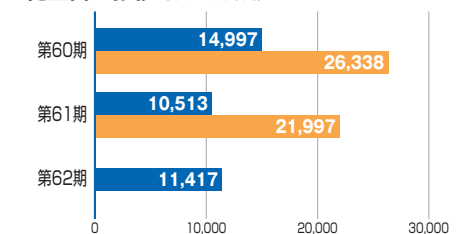
科目	期別		
	当第2四半期 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	前第2四半期 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,036	1,503	2,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21	△ 139	△ 241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 39	△ 45	△ 189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 377	△ 47	△ 101
現金及び現金同等物の増減額	597	1,270	2,446
現金及び現金同等物の期首残高	7,407	4,960	4,960
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,004	6,231	7,407

■ 事業セグメントにおける連結会社

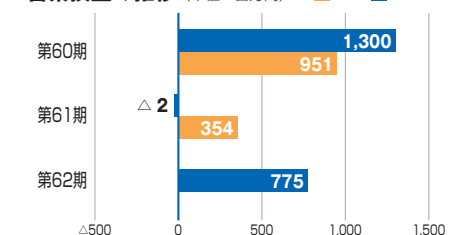
事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ムトーベルギー社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・SEグループ社・武藤工業香港有限公司・ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・(株)ムトーエンジニアリング 武藤工業(株)(平成22年6月まで)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンジニアリング (株)ムトーエンタープライズ
その他事業	(株)ムトーエンジニアリング (株)ムトーエンタープライズ

(注) ムトーヨーロッパ社は平成22年5月に、社名をムトーベルギー社へ変更しております。
(注) 平成22年7月に、CAD事業を武藤工業(株)から(株)ムトーエンジニアリングに移管しております。

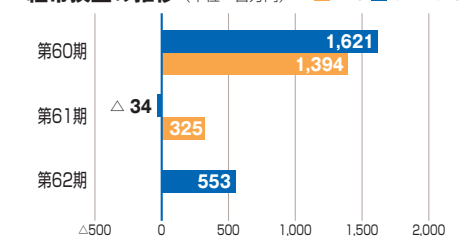
売上高の推移 (単位：百万円)



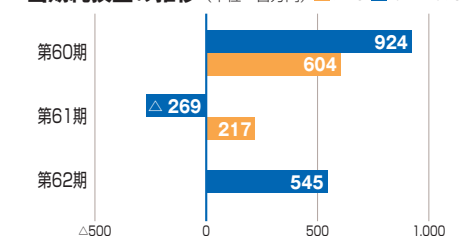
営業損益の推移 (単位：百万円)



経常損益の推移 (単位：百万円)



当期純損益の推移 (単位：百万円)



会社の概要 (平成22年9月30日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)

設立 1952年3月5日
(創業:1942年12月)

資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都品川区西五反田七丁目21番1号
第5TOCビル
Tel.03-5740-8700(代)

主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理

ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp>



MUTOHグループ会社

国内子会社

- 武藤工業株式会社
- 株式会社ムトーエンジニアリング
- 株式会社ムトーエンタープライズ
- ムトーアイテックス株式会社

海外子会社

- MUTOH AMERICA INC.
- MUTOH Belgium nv
- MUTOH Deutschland GmbH
- Sesoma – Sericomex Group
- MUTOH HONG KONG LIMITED
- MUTOH SINGAPORE PTE.LTD.
- MUTOH AUSTRALIA PTY.LTD.

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役会長 高山 允 伯 取締役 矢田 裕 治 常勤監査役 竹田 晶 信
代表取締役社長 早川 信 正 取締役 アーサー・バンハウテ 監査役 中野 浩 樹
取締役 高山 芳 之 監査役 國 峯 信 成

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 170,000,000株

■ 発行済株式総数 54,818,180株

■ 1単元の株式数 1,000株

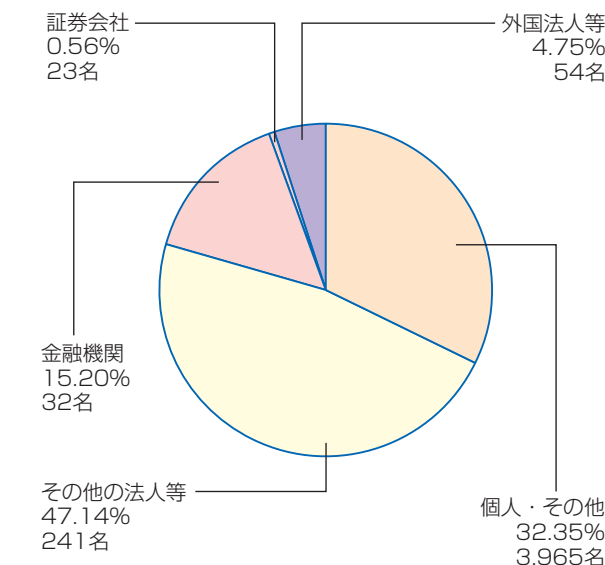
■ 株主数 4,315名

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,220,000	28.74
MUTOHホールディングス協力企業持株会	2,875,958	6.25
武藤 洋	2,217,514	4.82
株式会社みずほ銀行	2,121,399	4.61
武藤 栄次	1,800,586	3.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメンツ株式会社信託口)	1,457,000	3.17
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,126,000	2.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	998,000	2.17
武藤 郁子	888,603	1.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	803,000	1.75

(注) 1. 当社は自己株式8,817,076株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別分布状況



◆所有株式数別分布状況

